

物流センターを新設、道路用鉄製品の出荷スピード向上 主力製品以外の供給体制も強化

株式会社宝機材（本社:岐阜県瑞穂市/代表取締役社長:浅野寛榮）は、2022年9月に主力商品である道路用鋼製蓋（グレーチング）をはじめとする鋼製加工品の出荷業務効率化を図るため物流センターを開設します。

近年のインフラ老朽化や防災減災ニーズ増加の背景によりグレーチング以外の加工製品の受注量が増え、現倉庫と出荷場のキャパシティでは対応が困難になってまいりました。

本センター開設により倉庫のキャパシティ増大と最大3車両の同時出荷業務が可能となり、出荷スピードが向上。従業員の作業時間短縮により働き方改革や人手不足解消を推進します。

さらに、現本社工場と現倉庫にグレーチング以外の加工設備を集約することで生産ラインを一本化し、主力製品以外の供給体制を強化します。

物流センター概要

所在地	岐阜県瑞穂市別府字井場四ノ町 1663-2（現本社工場隣接地）
延べ床面積	3394.5 m ² （1026.8坪）
構造・規模	鉄骨造 倉庫兼出荷場 地上1階建て LED照明



物流センター完成イメージ

本件についてのお問い合わせ先

株式会社宝機材 総務部 広報担当：大澤亜希子

TEL：058-327-2222 メール：osawa@takara-kizai.com 住所：岐阜県瑞穂市別府 1723-1